

令和4年度 健全化判断比率の状況				III 実質公債費比率												
指標の種類	積丹町の状況 (前年度数値)	早期健全化基準	財政再生基準	区 分	決算額 (単位: 千円、%)			左の内訳 (R4)								
					R2	R3	R4									
比率の状況	I 実質赤字比率 (%)	- (-)	15.00	20.00	元利償還金の額 (繰上償還額を除く。)	(1)	367,876	386,236	410,310	(4)の内訳	決算額 (単位: 千円)					
	II 連結実質赤字比率 (%)	- (-)	20.00	30.00	積立不足額を考慮して算定した額	(2)				簡易水道会計	25,175					
	III 実質公債費比率 ※3カ年平均	9.5 (9.8)	25.0	35.0	満期一括地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	(3)				公営企業債の償還の財源に当てたと認められる繰出金	(4)	67,523	55,059	49,110	下水道会計	23,836
	IV 将来負担比率 (%)	23.1 (35.0)	350.0		公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(6)	13,571	13,583	14,104	国民健康保険会計	99					
					一時借入金の利子	(7)	100	91	370							
I 実質赤字比率				子	特定財源の額	(8)	12,525	12,824	13,854							
区 分				決算額 (単位: 千円、%)	災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還金に係るもの)	(9)	284,760	284,554	287,846							
繰上充当額 (A)					事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(11)	22,361	22,111	20,904							
支払繰延額 (B)					事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還金に係るもの)	(12)				(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)					
事業繰越額 (C)					密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(13)				利子補給	1,063					
標準財政規模等 (D)				1,857,895	密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金 (地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(14)	6,332	4,867	2,650	その他	13,041					
実質赤字比率 ((A) + (B) + (C)) / (D)				-	小計 ((1)~(7)) - ((8)~(14))	(A)	139,707	144,826	156,775							
II 連結実質赤字比率				資金不足比率	標準財政規模等	(15)	1,780,348	1,929,047	1,857,895							
区 分				決算額 (単位: 千円、%)	区 分	決算額 (単位: 千円、%)	左の内訳 (R4)									
実質収支	一般会計等	(1)	△ 125,410	将来負担額	(N-1)年度末一般会計等の地方債残高	(1)	3,422,600			(3)の内訳	決算額 (単位: 千円)					
		(2)			債務負担行為に基づく支出予定額	(2)										
		(3)			一般会計等以外の会計に地方債の元利償還に対する一般会計等負担見込額	(3)	455,059	簡易水道会計	262,594							
		(4)			組合等の地方債の元利償還に対する当該団体の負担見込額	(4)	9,936	下水道会計	184,776							
資金不足・剰余額	法適	(5)		退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	(5)	630,760										
		(6)	0	設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額	(6)		国民健康保険会計	7,689								
		(7)	0	連結実質赤字額	(7)											
		(8)	0	組合等の連結実質赤字額相当額のうち当該団体の一般会計等の負担見込額	(8)											
実質収支	その他特別会計	(9)	0	(N-1)年度末の充当可能基金現在高	(9)	1,464,764										
		(10)	0	特定の歳入見込額	(10)	85,113										
		(11)	0	地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	(11)	2,610,234										
		(12)	0	小計 (将来負担額 - (9) ~ (11))	(A)	358,244	(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)								
連結実質赤字額 ((1)~(12)の絶対値) (A)				△ 125,410	(注1)	標準財政規模等	(12)	1,857,895								
標準財政規模等 (B)				1,857,895	(注2)	災害復旧費等に係る基準財政需要額	(13)	287,846								
連結実質赤字比率 (A) / (B) × 100				-		災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還金に係るもの)	(14)									
						事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(15)	20,904								
						事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還金に係るもの)	(16)									
						密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(17)									
						密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金 (地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(18)	2,650								
						小計 ((12) - 算入公債費等 (13) ~ (18))	(B)	1,546,495								
						将来負担比率 (A) / (B) × 100		23.1								
						(注)	1. 連結実質赤字額は、赤字会計の合計値と黒字会計の合計値の絶対値であり、赤字の場合は整数値となる (黒字の場合は負の数となる)。 2. 標準財政規模等とは、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えたもの。									
						【実質赤字比率】	一般会計の赤字が、町税や普通交付税の財源の規模である標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。									
						【連結実質赤字比率】	全ての会計の黒字や赤字を合算し、積丹町全体での赤字の程度が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。									
						【実質公債費比率】	一般会計が負担する借入金の返済額や借入金に準ずる経費が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。									
						【将来負担比率】	一般会計の借入金や、将来支払っていく可能性のある負債が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。									